

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

# 同友

5 2024  
月号

vol.694

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYOU

特集

地域振興条例の実践事例  
われら「たがわPlanners」  
～高校生が地域の課題の解決に挑む～

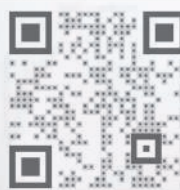
21世紀型  
自立型  
企業づくり

人は人によって磨かれる  
～本音を語れる仲間たちがいて  
『経営課題』が明確に～

ふくぞえ けんいち  
福添 建一 氏 (ふくろう不動産株式会社)

福岡県中小企業家同友会

 広報情報部  
Facebook



[デザインQR]





## われら「たかわPlanners」

～高校生が地域の課題の解決に挑む～



「たかわPlanners」とは田川市中小企業振興条例に基づく中小企業振興ビジョン実現のため、田川地区の5つの高校（東鷹高校、西田川高校、田川高校、福智高校、田川科学技術高校）の生徒が主体の課外部活動団体です。方針の4つの柱の1つ『新しいキャリア教育』の取り組みに対し、同友会も深く関わっています。先生たちは問います。「経営者のみなさん、みなさんが採用する若者はどのような若者でしょうか？どのような人材育成をされているのでしょうか？」

文：菅原 弘（菅原海事務所／東支部） 撮影：富谷 正弘（株式会社コスイメージ／玄海支部）



実務責任者会議の様子

**なぜ、田川市中小企業振興条例が設置されたのか？**

田川市は、石炭産業隆盛の中で日本有数の「炭都」として発展してきましたが、国のエネルギー政策の転換により、大きな衝撃を受けました。現在は大多数を占める中小企業が地域経済基盤をなしています。地域の中小企業が元気になれば、まちが元気になります。中小企業の役割と重要性について、企業・市民・経済団体が共通認識を持ち、豊かで住みよいまちをつくるためにこの条例は制定されました。

そもそも

## 同友会 3つの目的

### よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

### よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

### よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

### 今月の表紙



ふくろう不動産株式会社  
代表取締役  
**福添 建一** 氏（南支部）

詳しくは本誌8ページへ

私が福添さんを紹介します！



株式会社エヴァ  
取締役  
**山野 将由**（南支部）

福添さんとの最初の強烈な印象は、私が同友会に入会后1年経った春でした。  
名刺交換くらいしたかな？  
くらいの関係性だったと記憶していますが、突然お電話を頂き「会社訪問させてください」とのこと。何も知らずに受け入れた私に「来期、ブロック長になるので、副ブロック長になってもらえませんか？」とお言葉でした。  
今思うと、福添さんの「巻き込み力」に、その時から魅了されていたのかもしれない。芯を



しっかり持ち、「思い」を大切にしっかりと伝えようとする、そして学んだことを実践しようとする福添さん。会社の方も、設立当初からの社員さんとの別れも経験しながら、「本当にやりたいこと」と語られる「リノベーション業」に業態変更。同友会での学びを実践し、「つくらし」という自然素材で創るマンションリノベーションブランドを生み出します。今の「心と身体の健康」を創るために日々お客様と向き合われています。  
今後も、その「熱い思い」で同友会を巻き込んでいていただきたいと思っています。

### 撮影後記



ふくろう不動産株式会社の福添社長を訪問いたしました。名島にある、素敵なオフィスです。心地よい空間、自然素材のよさが体感できる空間で撮影が出来たことに感謝しております。

同友会に入会して『人に恵まれました』と語る福添さんの笑顔が素敵でした。

撮影のご協力ありがとうございました。

撮影・文／株式会社コスイメージ 富谷 正弘（玄海支部）

### “デザインQR”とは？

月刊同友675号より、表紙・自立型企業づくりアンケートは、絵柄付きのQRコードを採用しています。スマートフォン等で読み取る場合は、従来の白黒QRコードと同じアプリを使って読み込むことができます。  
※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。





例会の様子 北先生 梅崎先生

北敢先生（西田川高校）からは現在の学校教育が抱える課題について辛辣な意見が述べられました。  
現在の新学習指導要領では、育成すべき資質・能力の三つの柱「学びに向かう力」「人間性等」、知識・技能」「思考力・判断力・表現力」

### 田川支部3月例会

日時：2024年3月21日(木)  
18:30~21:00  
会場：福岡県立大学 大セミナー室  
テーマ：若者と共に地域課題を考え、  
自社経営を発展させよう！  
～「たがわPlanners」と  
共に考える地域課題～  
内容：(ダイジェスト)先生による問題提起

### 示されたビジョン

この条例の目的を達成するために、「田川市産業振興会議（会長：中山英敬氏）とその下部組織として「実務責任者会議」が設置されました。地域内全事業者にアンケートを行い、事業所の特徴や課題を整理し「ビジョン」と「方針」を策定しました。《「ビジョン」》  
「中小企業が元気に活躍するまち田川」  
「みんなでつくる地域内経済循環」  
《「方針」に基づく組織図》  
今回の「たがわPlanners」の活動です。



取材班は2月15日に開催された第72回実務責任者会議にもお伺いしました。会議では冒頭、中山英敬会長の挨拶に続き、4つのビジョンを担う各担当者から進捗状況の報告があり活発な意見交換が行われました。

### 田川市長より表彰される



中央が村上卓哉・田川市長

この取り組みが高い評価を受け、3月16日、「田川市中小企業振興ビジョン取組報告会」において村上卓哉・田川市長より表彰を受けました。  
当日は、福岡同友会に併せて、広島同友会、熊本同友会、宮崎同友会、鹿児島同友会も視察に訪れました。

これらを踏まえ、「豊かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を総合的にとらえて構造化することを目指しています。しかし、日本の教育界では「社会との接点が少ない」「上から否定され続ける」「失敗させない」「与えられすぎている」という傾向があります。  
梅崎倫太郎先生（東鷹高校）からは、「たがわPlanners」ができるまでの経緯を説明していただきました。フットワークを活かして、第4部会（キャリア教育部）のメンバーになりました。

### 「たがわPlanners」発進

新しいキャリア教育により地域課題に取り組み観点から、2022年8月に「田川未来創造部」が生まれ、生徒募集して1月に発足しました。  
2023年2月、田川の未来を企画・デザインする高校生たち「たがわPlanners」と改称します。  
自分たちで課題を見つけ、実行に移す中で試行錯誤をし、周りの大人たちと共に「社会」を経験することで自分の人生を見つめる機会になる。先生たちは問います。「経営者のみなさん、みなさんが採用する若者はどのような若者でしょうか？どのような人材育成をされていらっしゃるのでしょうか？」

### 村上卓哉・田川市長あいさつ(抜粋)



表彰の様子 村上卓哉・田川市長 中山英敬会長

本日は、「田川市中小企業振興ビジョン取組報告会」に、多数御参加いただきありがとうございます。  
令和元年11月に4つの柱を主とする「田川市中小企業振興ビジョン」を策定して以降、4年以上が経過する中、4つの柱ともに、成果が出ている状況です。  
今回の報告会は、どのような形で成果が出ているかについて、広く市民の皆様を知っていただくとともに、昨年9月に、福岡県立大学協力のもと、市内全事業所を対象に実施した「中小企業振興基本調査」について、学生の皆さんに結果の分析をしていただいたところで、その結果を本日発表させていただくこととしております。

### 生徒たちによる活動報告



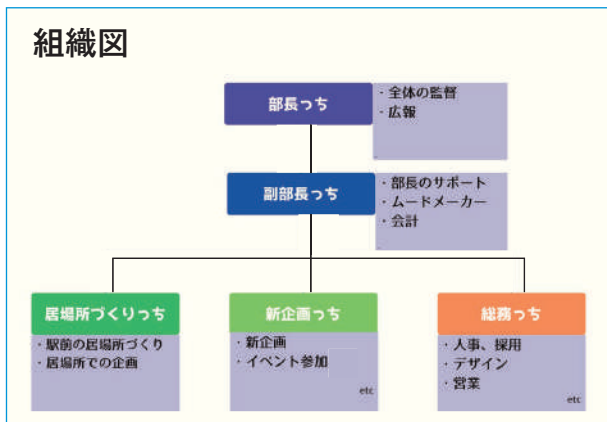
例会で報告する生徒のみなさん

生徒からは活動について説明していただきました。  
《手探りで方向性を模索する》  
手探りで活動をしていましたが、何度かの会議を重ね、次のことを確認しました。  
・田川には若者が遊ぶところがない  
私たちが造りたいのは、ゲームセンターではない  
・若者の流出による人手不足・過疎化・地域愛のある若者の減少

中小企業のみなさんは、本地域の経済や雇用、私達の生活を支える重要な存在であり、これからも不変であると認識しています。そのような認識のもと、中小企業の振興につきましては、全力を挙げ取り組んでまいりたいと考えております。  
本日の報告会を中小企業振興について、今一度考える機会としていただき、それぞれの立場でどのような事が担えるか、共に考えていければと思います。最後までよろしくお願いたします。



表彰式に参加のみなさん



### 田川の若者が魅力を感じる「たがわPlanners」

- ① いろいろな人と交流ができる
  - ② 成長を感じられてうれしい
  - ③ ここに行けば成長ができるような場所
- そこで若者が気軽に集まれて交流できる居場所づくりを目的とした「居場所づくりプロジェクト」が立ち上がりました。しかし課題が浮かび上がりました。
- ・活動経験がない
  - ・資金がない
  - ・人手が足りない
- 幸運にも田川後藤寺駅前に閉業した「イクリニック」が見つかり、そこを拠点としました。





グループ討議で発言する西並 隼介さん



例会の様子



《ロゴ作成》

総務  
つちの活動

【計画】居場所づくりの目標: 学生が成長できて楽しめる場所をつくる

【実行】



【検証】

みんなで学校の不満を出し合いそれを模造紙にまとめる。数人でグループになり不満の解決策を考える

【次なるアクション】

学生が気軽に参加できるイベントを開く自分の在籍校について深く知る機会を作る

PDCAで活動していく



質問に答える小島 瑠依さん

「たがわPlanners」と共に更なる活動を進めてまいります。



小川 浩太氏 ((有)小川商事)

座長のまとめ

同友会理念(国民や地域と共に歩む中小企業をめざす)の具現化を求めて活動しております。その中で生徒たちは本質的なことをよく考えて実践していきます。今回の例会では「地域に必要とされる企業とは」として若者に必要とされる企業とは」ということを考えていきました。「たがわPlanners」と共に更なる活動を進めてまいります。



《ポスター作成》



《名刺作成》

同友会では、ややもするとクローズ(閉ざされた)環境での勉強会になりがちですが、今回はその枠を超えて、学び合うことができました。これからも同友会が先頭に立って地域の産学官民金の人たちと学びを深めていきたいと思えます。



青柳 考哉氏 ((株)BOOK)

地域づくりブロック長のコメント

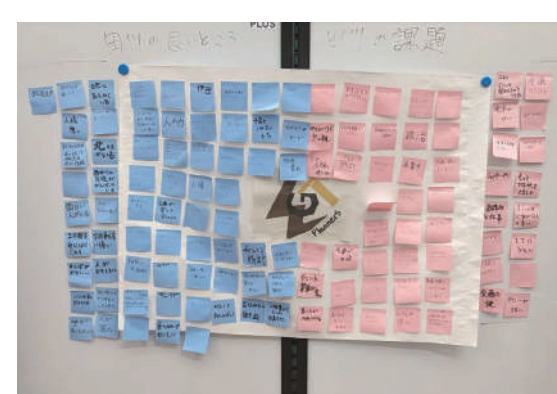
普段、若者と関わる時間が少ない中で、キャリアアプランを通じて交流でき、有意義な例会でした。これをきっかけに地域課題と一緒に考えていきたいと思えます。



上原 晃一氏 ((株)ユナイテッドファム)

田川支部長のコメント

●よい点  
・人情にあふれている  
・伝統行事が多い  
・食べ物が多い  
●課題点  
・地域のお店の衰退  
・仕事がない  
・交通が不便  
しかしここでも課題が出てきました。  
●設備等の資金  
●認知度の不足  
「たがわPlanners」の今後の展望  
・今のメンバーが大人になっても続けてほしい



ポストイットでアンケート分析

新企画つちの活動

1月20日、後援祭で聞き取り調査を実施しました。

同友会は学びの場であり運動体です。若者を地域に残す運動が、北九州地区や県南地区のインターシッピングとして芽吹き始めています。そして、田川支部の素晴らしいお手本があります。みなさんで盛り上げていきましょう。

2024年度の福岡同友会は、県の方針「地域づくり」の中で、「地域の若者を残すための運動と考えて、教育機関との関係強化し教育型インターシッピングなどの取り組みを広げていきます(案)」と謳っています。地元で働く場がなければなりません。それも魅力ある場です。われわれ会員企業は輝く元気な中小企業でなければなりません。経営指針書の作成・実践を通して売上げ・利益の計上はもちろんのこと、商品・サービスの提供、雇用の創出など持続可能で循環型の企業となり、地域に必要とされる存在にならなければなりません。



井上 明氏 (福岡同友会副代表理事・地域づくり推進本部長)

会員へのメッセージ



パワーポイントでの説明



例会の様子

・若者から田川を良くしていきたい地域愛溢れる田川になってほしい  
※まだまだ始まったばかりです。みなさんも活動を見に来てください。  
今後の活動 5月19日 神幸祭 参加  
グループ討論テーマ: 若者が考える地域課題に対して自社ができることは何ですか?



# 人は人によって磨かれる

「本音を語れる仲間たちがいて『経営課題』が明確に」



ふくろう不動産株式会社 代表取締役  
福添建一 氏【南支部】

同友会に入会して「人に恵まれました」と話す福添建一さん。その活動を取材しました。

取材／広報部  
文章／菅原 弘（東支部）  
写真／富谷正弘（玄海支部）



デザインQR  
用紙集

**名前の由来、社名の由来**  
今回の自立型企業の登場は、ふくろう不動産(株)の福添建一さんです。福添さんは1975年2月11日、建国記念日に鹿児島県日置市で生まれました。戦前は紀元節と呼ばれ、いわゆる国家の誕生日にあたります。奇しくもその日は旧暦の1月1日でもあり、また「一番になれ！」の願いを込めて「建一」と命名されました。その後、建設業に携わることになるのですが、まさに「名は体を表す」を地で行っています。

福添さんは岡山理科大学を卒業して、福岡市内のデベロッパーに就職します。13年ほど勤めましたが会社が解散するのを機に、キャリアを活かして独立するのでした。2011年のことです。懇意にしているお客様からふくろうの絵皿をプレゼントされたことがありまし



事務所玄関



ふくろうの絵皿

た。自分の名字が、福(しあわせ)を添えること、福岡の地で創業することから、社名を親しみやすく「ふくろう不動産販売」としました。そのお客様からの「あなたが笑顔であれば、何事もうまくいきますよ」という言いつけは今でも守っています。



## リノベーションへ方向転換

創業時は、新築マンションの販売代理業をメインの業務にしていました。2期目に、リノベーションという世界にめぐり逢います。当時マンションでは、キッチンの向きを変える事が出来ないと思っていました。キッチンの向きを変えたマンションを知って、「家族と向き合える」「小さな子どもを見守りながら料理ができる」と衝撃を受けました。「暮らしが変わる!!新しい価値の空間提案、リノベーションで今までにない感動を生み出せる」と福添さんは確信し、方針転換を図ることにしました。ペルソナ(平均的ではなく典型的なお客様ターゲット)を未就学のお子さんのいる家族と設定しました。



事務所内は「つくらし」と同じ素材

## 同友会に入会

同友会入会前にあすなろ塾(経営理念作成のセミナー)を受講しました。入会してからは、経営指針作成セミナーを受講しました。2013年(3期目)、西元知基さん(中小企業診断士、現在GENコンサルティング(株)の協力を得て、社内向けに経営指針発表会を開きました。しかし「リノベーションでメシが食えるか」と社員と確執が生まれます。その翌月に経営を学んで、社内に伝えていこうと同友会に入会します。翌期に、海野康弘さん(株)パウンディングパルスの力添えをもらい、今度は取引先や同友会の仲間の前で、指針発表会をしました。しかし、発表会後の翌日に、社員が辞めることになりました。

「ある程度は想定内でしたが、やはり経営者の覚悟と一番は社員との対話不足を実感しました」と話します。

## 自社ブランド「つくらし」を立ち上げ、「よい志ごと」へ

5期目から、本格的にリノベーション業、マンション買取再販業に転換します。北原正さん(社会保険労務士法人COMMITMENT)が支部長の際にスタートしたマーケティング講座を、貞兼朋記さん(株)ルックルック・副代表理事)と福田裕聡さん(株)スマリオン・南支部長)と毎回受講して、自社ブランド「つくらし」を拡める戦略を練りました。「つくらし」を拡める造語で、ブランディングやデザインは、当時運営していた薬院テラスというシェアオフィスに同室の右寺武志さん(株)トンカチ)にお願いしています。コンセプトを次のようにしました。

- 1 地産地消の自然素材
- 2 心地よい動線・風通し
- 3 豊かな収納

福添さんが何よりも大事にするのは、健康づくりの一助になる住まいでの暮らしです。

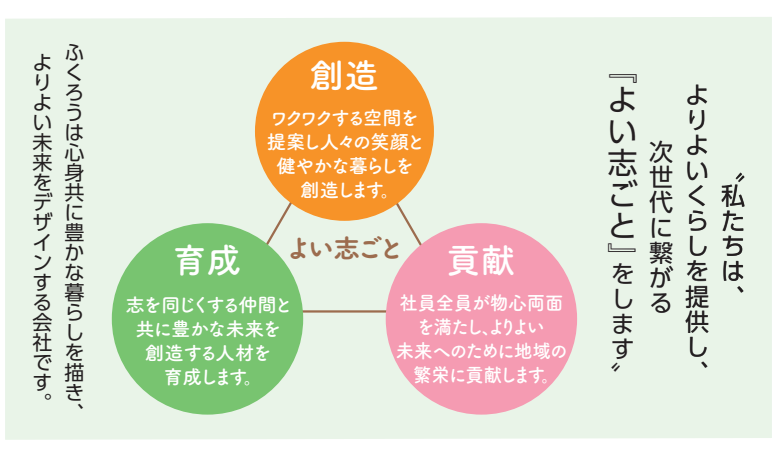
一例を挙げると、床は福岡県産の無垢材を使用し、壁には国産珪藻土を使用しています。この素材は小さな穴があり化学物質などを吸着分解する働きがあります。床も壁も呼吸する家(マンション)です。「福岡の空がPM2.5で汚れてき



福岡県産の無垢材を使用

ていました。私自身もアレルギーを持っており、次の世代のためにも環境を守りたいと思っています。その後、2回目の経営指針作成セミナーを受講し、策定した経営理念は次の通りです。

「私たちは、よりよい暮らしを提供し、次世代に繋がる『よい志ごと』をします。」





## 企業連携による「仕事づくり」の追求

# FASTにGO!



文・写真：広報部 林田 孝一（ひびき支部）

社員、そして会社が成長し続けていく企業。地域に貢献し、次世代に繋げていきたい。

『まな板の鯉』で課題が明らかに

北原正さんの勧めで金融機関との勉強会で事例報告をしました。理念に共感してもらい、「特に信金さんとはよい関係が構築できています」。財務は山野将由さん(株エヴァ)の指導のもと、資金繰りに対応しています。工事は大石憲一郎さん(株Cass)が、協力してくれています。前事務所が同じ建物であったことから、スタッフの子どもの託児対策として、阿部弘美さん(株ChouChou)と業務提携しました。3人は、福添さんがブロック長の際の副ブロック長です。役員活動の際に強い絆が生まれ、いつも相談に乗ってもらっています。また、ホームページも制作してもらっている福田裕聡さんと西元知基さんとは、大学の同級生です。同友会の仲間との仕事は、理念や人を理解し合っている上で関わっていくので、よい志ごとが繋がります。

見を受けるものです。「実は、もう5回も組上りのりまして……。初めは恥ずかしかったのですが、みなさんが社外取締役として、時には社員の目線でアドバイスをしてくれれます。」

「つくらし」シリーズは実績が60件を超え(令和6年3月現在)、利益も計上しています。一方、マンションを買取り、数カ月かけて施工して販売するので、資金回収までに時間がかかるという面もあります。

戦略として、栗山浩さん(株アーキテックス)や渡辺年紹さん(株コスモス)に、建売(住宅)から注文(住宅)への幅を広げることや、ランク付け(松・竹・梅など)を作ったかどうかなどアドバイスをもらいました。月々の売上げの平準化を図るために家賃収入が見込めないかと清家政彦さん(セイワパーク(株))からも提案をいただきます。貞兼朋記さんから「成功と失敗は同格。とにかく指針書で明確にして行動すること。あと値決めが最も大事な仕事。しっかりとしたデータを基に決めること!」と、特に経営者の姿勢をアドバイスいただきます。

前期では、同友会担当の副支部長として

人は人によって磨かれる

新内一秋さん(株筑紫工業)はこう話したそうです。「同友会で仲間をつくることはとても素晴らしいことです。しかし「同友会ごっこ」になってはいけません。学んだふりになっても成長したとはなりません。ダイヤモンドはダイヤモンドで磨くことで輝きを出します。同様に人は人によって磨かれるのです。」



揮発性有機化合物がほとんど含まれない環境に優しい水性塗料

て、南支部の若手会員にも参加を促しました。

取材に同席した倉本明彦さん(株システム企画)からは「福添さんは、同友会に加え、納涼例会や会員交流のブロック会などにはリーダーになってもらっています」という一面も紹介してくれました。

取材の最後に福添さんが考える自立型企業についてお伺いしました。

「社員、そして会社が成長し続けていく企業。成長し続ける事で、地域に貢献し、その地域の次世代に繋げていく会社だと思っています。私の大きなビジョンとして、いずれは衣食住に関わり、特に地球に優しい環境を次の世代に残していきたいと考えています。」と笑顔で締め切ってくださいました。

取材協力ありがとうございました。



**ふくろう不動産株式会社**

創業 2011年6月  
住所 福岡市東区名島4-31-13  
電話 092-692-7229  
従業員数 パート3名  
事業概要 自然派リノベーションマンション「つくらし」企画・販売、マンション専門不動産(買取・仲介・管理)

<https://tukurasi.fukurou-fd.jp>

なりたちと  
これまでの成果

企業連携推進委員会FASTは福岡同友会のなかでも、とりわけ「仕事づくり」をメインテーマに取り組み委員会です。現在、毎月の例会では会員企業が報告する「商品開発」「販路開拓」「ブランディング」「マーケティング」「新技術研究」などの取り組みや実際に直面している課題を取り上げ、参加者同士で意見を出し合いながら、より良い「仕事づくり」につなげることを目指しています。

また、これらのテーマに関連し、外部を招いた勉強会も企画しています。参加するすべての会員企業が、FASTで得た学びをいかして「仕事づくり」「企業連携」「強靱な企業づくり」をすすめるために活動しています。

2004年、福岡同友会第4次ビジョンでも掲げられた、会員企業同士や産学官金との連携による「仕事づくり」について、他県同友会の事例に学び、福岡同友会でも連携推進による「仕事づくり」をすすめていこうとFAST設立準備会が立ち上がりました。その後10回以上の準備会を重ねて2005年6月にFASTが設立されました。



## 私たちと一緒に新商品を

(有)ニッコー・ネット 古川 淳一 氏(博多支部)

私は、中小企業こそ新商品をつくるべきだと思っています。同じ支部に所属する会員さんの話なのですが、トラックの運行管理システムを開発したところ、利用が簡単でドライバーにも負担がかからないということで国交省が目を付けて、大手企業と競合するコンペで採用されたとのこと。パワフルな商品さえ作れば勝てるんです。



FASTに参画する(有)ニッコー・ネットの古川さん(左)と宮崎恵津子さん(右)

じゃあどうすれば勝てるか？言うまでもなく他社との差別化が重要です。私たちが目指しているのは、単に商品を売るのではなく、新しい価値を生み出すことです。私たちが一緒に作っていきましょう。



初期のFASTでは、北海道同友会FCPEの地域と産学官連携による商品開発・サービス開発や、神戸同友会アドック神戸(AdhockKobe)から多くを学びました。アドック神戸は、会員同士が経営指針から財務内容まで共有し、金融機関と交渉できる力を持っていて、同友会での連携の理想の形でした。地元の大学との連携では、大学の先生の研究を知るとともに、会員企業が商品開発での技術的な課題を相談しやすい関係を作ってきました。行政との連携では、商品のコンセプト、デザイン化、知財販売ルート、資金など、さまざまな支援策の交流をしました。

### ここ一年の取り組み

設立から約10年、さまざまな連携をすすめながら活動を広げていったFASTですが、次第にメンバーが固定化されていくなかで、ここ数年はおとなしい時期を過ごしてきました。FASTの再興を期して白羽の矢がたったのが

(有)ニッコー・ネットの古川淳一さん(博多支部)です。コロナ禍から生まれた会員交流特別委員会に参画し、2023年2月に開催された「チャレンジフェスタ」の主催メンバーの一人でもありました。古川さんはさっそく「チャレンジフェスタ」で生まれたつながりをいかして、会員による「商品開発」をテーマにした大々的な報告例会を開催し、再興の狼煙をあげました。以来、現委員長の船木治さん(サン・フカヤ)をはじめとした

### ここ一年のFAST例会テーマと報告者(一部)

- 23年5月 『車中泊キット クール』  
(有)佐藤工業所 佐藤 晃壽 氏(中央支部)
- 6月 『自分でプチ「道の駅」を作っちゃいました!』  
旬菜弁当 宮崎 由紀 氏(りょうちく支部)
- 7月 『自転車×広告 ヴェロトレラー始動!』  
あんず(同) 崎村 正雄 氏(博多支部)
- 9月 『女性起業家の為のビジネスの基本の「キ」を教える学校』  
ルラシオンビューティー(株) 池田 和心 氏(博多支部)
- 11月 『未来のお金をデザインする』  
(株)アーリークロス 花城 大地 氏(博多支部)

FASTメンバーとともに、毎月のFAST例会の企画運営に携わっています。FAST主催による2025年夏のチャレンジフェスタ開催を視野に、2024年4月には1回目の準備委員会も開催しました。毎月の会員企業による「仕事づくり」報告を積み重ねていきながら、そこに参画する会員企業の連携推進のための土台づくりをすすめるFASTのこれからに注目です。

自社だけでは得られないものがある

企業活動の中核となるべき「仕事づくり」は、中小企業一社では、なかなか進まない現状もあるのではないのでしょうか？ 自社だけでは得られない情報、商品化のためのデザインやブランディング、知財保護、行政の制度の活用、マーケティングや販路開拓等、広範な知識や情報が必要とされます。FASTがめざす企業連携はそれらを共有し合うことでもあります。

会員のみなさんの事業のこと、課題や悩みをFASTで共有しませんか？ 思い立ったらFASTにGO!



FASTについてのお問い合わせは  
福岡同友会事務局まで  
(092-686-1234 担当:安丸)

## 2023年度 第11回 理事会だより

開催日時 2024年3月27日(水) 14時30分~17時43分  
会場 振興センタービル401会議室  
出席数 36名(出席率90%) 議長 貞兼 朋記(理事)

### ○会員増強

入会74名、退会13名(うち未収による強制退会1名)、休会1名が承認された。3月承認会員数2,356名。

### ○2024年度にむけて

①2023年度活動総括案の検討 ②2024年度運動方針案の検討 ③2024年度予算案の検討 ④2024年度活動計画(全国行事・正副及び理事会の日程含め)・組織図の検討が行われ、①②は承認された。

### ○定期総会にむけて

総会案内は郵送やe.doyu、各行事にて行う。議案書については4/20頃発送、4/26頃にお手元に届く予定。議案への事前質問・意見集約用紙を同封する。

### ○知る会の経費負担申請要領について

知る会に関してこれまで増強部で費用負担をしていた会場費だけでなく開催費(会場費・備品・チラシ作成印刷費・資料印刷費)も負担できるよう変更する。

### ○総務財政室より

① 役員選考細則の名称を役員選考規程に変更  
② 役員選考委員の選出人数の変更  
役員選考委員の選出人数を現行の各地区2名から福岡地区4名、北九州・筑豊・県南地区からそれぞれ2名に変更する。

### ○役員選考委員会より

樋口監事の辞任により新たに監事の交代が承認され、総会に提案する。

- 監事 坂本 敏弘(北九州支部)  
※監事就任により研修部長は辞任となる

### ○9/19-20開催

青年経営者全国交流会 in 宮崎 参加目標について  
参加目標を100名とすることが承認された。

### ○能登半島地震への対応について

会員企業からの個別入金で2,838,211円、会合等で集めていただいた支援金が139,278円、合計2,977,489円の支援金を中同協支援金口座に振り込みした。

### ○会員企業の動き

- 表彰など  
○2023年度  
「はばたく中小企業・小規模事業者300社」(中小企業庁)  
●受賞分野 <人への投資・環境整備>  
コースイ(株)  
鶴田 和寿氏・鶴田 泰三氏(飯塚支部)

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

### 2024年度 地区・支部総会 一覧

北九州地区総会	5/16	木	18:00~19:00	■ コムシティ大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-642-1441
北九州支部総会	5/16	木	19:00~20:00	■ コムシティ大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-642-1441
ひびき支部総会	5/16	木	19:00~20:00	■ コムシティ 204会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-642-1441
福岡地区総会	5/17	金	16:00~17:00	■ 福岡県中小企業振興センター 2階 大ホール 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011
東支部総会	5/17	金	18:30~19:30	■ 八仙閣本店 福岡市博多区博多駅東2-7-27 ☎0120-489-451
福博支部総会	5/17	金	18:00~19:00	■ 福岡県中小企業振興センター 303会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011
博多支部総会	5/17	金	18:30~20:10	■ JR博多シティ 9F中会議室(3) 福岡県福岡市博多区博多駅中央街1-1 JR博多シティ 9F ☎092-292-9258
中央支部総会	5/17	金	17:30~18:30	■ 福岡県中小企業振興センター 401B会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011
西支部総会	5/17	金	17:30~18:30	■ 福岡県中小企業振興センター 501会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011
南支部総会	5/17	金	18:00~19:45	■ 福岡県中小企業振興センター 302会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011
筑紫支部総会	5/17	金	18:30~19:30	■ 大観荘 福岡県筑紫野市湯町1-12-1 ☎092-922-3236
福友愛支部総会	5/17	金	18:00~18:50	■ QUANTIC 福岡県福岡市中央区天神2-3-33 ☎0120-115-000
福友和支部総会	5/17	金	18:00~18:50	■ QUANTIC 福岡県福岡市中央区天神2-3-33 ☎0120-115-000
青年支部総会	5/17	金	18:00~19:00	■ 福岡県中小企業振興センター 401A会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011
玄海支部総会	5/17	金	17:30~18:30	■ 福岡同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-686-1234
かすや支部総会	5/17	金	18:00~19:00	■ 福岡県中小企業振興センター 403会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011

県南地区総会	5/21	火	18:00~19:00	■ だいふく本店会議室 福岡県大牟田市有明町2-1-3 ☎0944-53-3333
大牟田支部総会	5/21	火	19:00~20:00	■ だいふく本店 福岡県大牟田市有明町2-1-3 ☎0944-53-3333
筑豊地区 のおがた支部・飯塚支部 ・田川支部総会	5/23	木	地区総会 17:00~18:00 支部総会 18:10~19:10	■ エクセレントガーデン 直方市頓野4069-9 ☎0949-26-8808
糸島支部総会	5/23	木	18:30~19:30	■ ハーブガーデンブティール倶楽部 福岡県糸島市浦志366-2 ☎092-331-2220
りょうちく支部総会	5/23	木	18:30~19:30	■ るり色ふるさと館 福岡県うきは市吉井町983-1 ☎0943-75-3343
久留米支部総会	5/24	金	18:30~19:00	■ ハynesホテル久留米 久留米市天神町1-6 ☎0942-32-7211
有明支部総会	5/24	金	18:30~19:30	■ ランヴェイエル勝島 福岡県柳川市南長柄町22 ☎0944-73-9181

**11 土 9:15~17:45** 経営指針作成  
あすなる塾

■ 福岡県中小企業振興センタービル 大ホールC  
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センタービル11F  
☎092-686-1234

**24 金 18:30~20:30** 企業連携推進委員会  
FAST5月例会

■ 同友会全体会議室  
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センタービル11F  
☎092-686-1234

■ 武田 晴雅 氏 株式会社中央工作所 後継者(西支部)

**27 月 18:30~20:30** 共育委員会  
リーダー研修

■ 振興センター 202会議室  
福岡市博多区吉塚本町9-15 2F ☎092-622-0011

**りょうちく支部&県増強部会  
初挑戦!「あいのり例会!!」**

(仮)〇〇についてどういう風に経営判断している?  
~経営者として大切にしている哲学~

**6/7 金 18:30~21:00**

■ 久留米シティプラザ  
福岡県久留米市六ツ門町8-1 ☎0942-36-3000

■ パネルディスカッション形式

「あいのり例会」とは、例会に他支部のブロック会を招き、支部の例会活性化問題と、各支部のブロック会活性化問題を同時に解決出来ないかチャレンジする県増強部会の挑戦です!

6月にブロック会を開催する皆様!  
地元がりょうちく、県南の皆様!  
また各支部の有志の皆様!  
りょうちく支部例会に「あいのり」してください!





# 新会員 Pick up!

## 第194回新会員フォローアップセミナー



令和6年2月22日に第194回新会員フォローアップセミナーを開催しました。

第1講「同友会と自社経営」は代表理事 高谷幸一さん(福博支部)、「体験報告」に橋口麻友子さん(福博支部)、「経営指針の作成について」は、経営労働委員会から長嶋浩二さん(福友和支部)に報告いただきました。ありがとうございました。

受付や司会は宮地恭平さん(青年支部)、王愛さん(福友和支部)に担当していただきました。お二人の活躍に救われました。ありがとうございます!

おかげで、新会員フォローアップ部会がますます活性化しています。会員の皆さんの応援参加を心よりお待ちしております!

新会員フォローアップセミナー 部会長 松井 竜介(南支部)

### 新会員フォローアップセミナー 2024年度開催予定日

【開催日:第4木曜】

第197回	6月 27日(木)
第198回	7月 25日(木)
第199回	9月 28日(土)
第200回	10月 24日(木)
第201回	11月 28日(木)
2025年	
第202回	1月 23日(木)
第203回	2月 27日(木)
第204回	3月 27日(木)
第205回	4月 24日(木)

あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか?

## みなさんの投稿をお待ちしています。

**投稿方法** | 郵送、メールいずれも可。  
表題に「月刊同友 会員からの投稿」とご記載ください。

**テーマ** | 環境問題や、社会貢献、例会の様子、地域イベントなど、内容は自由です。

**送付先** | 郵送/下記「月刊同友」編集部まで  
メール / a\_arima@fukuoka.doyu.jp (福岡同友会事務局 有馬まで)

### 一般社団法人 福岡県中小企業家同友会「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル11階  
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

#### 【北九州地区センター】

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39  
クルーズ浅野ビル 808号  
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

#### 【県南地区センター】

〒830-0038 久留米市西町1367-1  
祥栄ビル2階  
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366



[デザインQR]

### 今月の「月刊同友」はいかがでしたか?

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

約4分で回答できます 回答締切 5月31日(金)